

マニラ地下鉄

# TBM掘削本格化 施工監理担当はオリ コンサルグローバル

オリエンタルコンサルタ  
ンツグローバルが施工監理  
を担当するフィリピンの  
「フィリピン国マニラ首都  
圏地下鉄」工事で12日、ト  
ンネルボーリングマシンが  
地下に下降し、掘削作業が  
本格化した。同日に工事の  
本格化とフィリピン鉄道訓  
練センター開設を記念した  
式典を開催。同国のドゥテ  
ルテ大統領が鉄道訓練セン  
ターのシミュレーターを運  
転した。

領のほかトゥガデ運輸大  
臣、日本側からは越川和彦  
駐フィリピン特命全権大  
使、坂本威午国際協力機構  
（JICA）マニラ事務所  
長、オリコンサルグローバ  
ルの米澤栄二社長らが出席  
した。

鉄道訓練センターは鉄道  
運転士の訓練と育成を目的  
に、日本政府が無償資金協  
力で実物大のシミュレータ  
ー1台、デスク型シミュレ  
ーター30台を提供した。オ  
リコンサルグローバルはJ

式典には米澤社長、ドゥテル  
テ大統領らが出席した（オリ  
コンサルグローバル提供）



IICAから同センターの設  
立・運営能力強化支援業務  
を受注しており、今後は同  
センターの運営や制度設

計、研修の実施支援などに  
取り組む。約4000人の  
既存鉄道職員への再教育事  
業なども行う。

マニラ首都圏地下鉄は、  
日本の政府開発援助（ODA）  
資金と無償資金協力で  
実施するプロジェクト。延  
長は34キロで、2027年の  
開業を目指す。

マニラでは経済の急速な  
発展と人口の一極集中によ  
り、交通混雑が問題となっ  
ている。フィリピン政府は  
首都圏で大型都市鉄道事業  
を集中的に実施している。  
オリコンサルグローバル  
は、これまでに同国で複数  
路線の鉄道の計画・設計・  
施工監理などを実施した実  
績がある。